



ADBアソシエイトキャラリ



ADBアソシエイトキャラリ



ADBアソシエイトキャラリ



Ariel Javellana

ADB

ウォーター・ボンド

WATER for ALL

水に関する業務活動

アジア開発銀行（ADB）は2011年、通常資本財源を通じ、93件の水関連プロジェクトに対して7億1,500万ドルの投融資を実行しました。主な受益国は中国、インドおよびインドネシア等です。

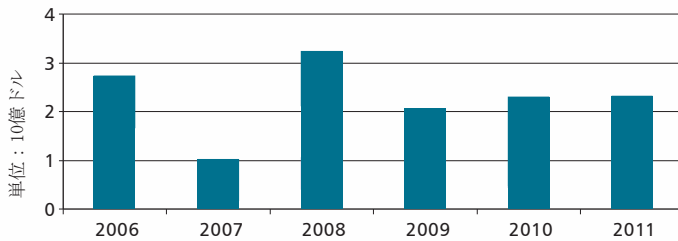
ADBは2010年に初めてウォーター・ボンドを発行し、計6億3,800万ドルを調達しました。その後もさらに、3億ドル相当を超えるウォーター・ボンドを発行しています。これらの債券を通じて調達された資金は、アジア・太平洋地域の様々な水関連プロジェクトに利用されます。

ADBはまた、引き続き援助国や他の開発機関と協力して追加的な資金や知識資源を動員し、2020年まで継続するウォーター・ファイナンス・プログラムの実施を支援しています。資金面でのパートナーシップとしては、ADBのウォーター・ファイナンス・パートナーシップ・ファシリティがあり、その拠出約定総額は2012年6月現在でおよそ7,200万ドルとなっています。

知識面でのパートナーシップについては、ADBとユネスコ水教育研究所が2011年11月7日にパートナーシップ協定を締結しました。知識の共有と普及を図るため、ADBは2011年に「水学習週間」と題したイベントを開催しました。このイベントではアジアの有力な水関連の実務者、研究者、知識・資金支援のパートナー機関とADB職員が一堂に会し、革新的な手法や教訓を共有しました。

2012年4月11日から13日にかけて、ADBはフィリピン・マニラの本部において、第1回アジア灌漑フォーラムを開催しました。このフォーラムでは、アジア・太平洋地域の灌漑農業の現状と将来のトレンドが検討され、灌漑農業の変革を支援するための投資ニーズを含め、ADBなどの国際開発金融機関が果たすべき役割が議論されました。各国政府、開発機関、民間企業に加え、農民団体やマスコミを含む市民団体がフォーラムに参加しました。

ADBの水投資承認額（2006～2011年）



注：このパンフレットにおいて、「ドル」は米ドルを意味する。

グルジア：都市サービス改善投資プログラム

事業期間：2011～2019年
融資パッケージ総額：5億ドル

事業概要

本投資プログラムは、グルジアの第2級都市6カ所の上水道および衛生サービスを改善し、ひいては住民の健康状態を改善することを目的としています。事業コンポーネントは下記の通りです。

インフラ整備として、第2級都市6カ所の上水道・衛生施設の復旧、改善および拡張を行うインフラ投資を支援します。受益者はおよそ33万5,000人で、グルジア水道供給会社の管轄区域内都市部住民の38%、グルジア全人口の7.6%、全都市部人口の14.3%に相当します。

組織・制度の有効性を高めるために、セクター関連機関の能力を強化し、上水道・衛生サービスのより効果的な規制を支援します。

プロジェクト実施支援として、詳細設計、建設管理、調達、セーフガードの遵守、投資プログラム次期トランシェの準備、保健・衛生・節水に関する啓蒙プログラム等を支援します。



ベトナム：水セクター投資プログラム

事業期間：2011～2020年
融資パッケージ総額：10億ドル（マルチトランシェ融資ファシリティ）

事業概要

本投資プログラムは、ベトナムの水道供給会社の業績改善を目的とし、各社の設備投資を支援するほか、国家無収水対策プログラムへの協調融資を行います。本プログラムではマルチトランシェ融資ファシリティを活用し、ベトナムの水セクターの制度改革に向けた長期的な支援を2020年まで提供します。

2008年のプロジェクト形成調査で、ダナン、ハイフォン、ホーチミン、フエの4市が試験事業の対象に選ばれました。第1期の資金援助はホーチミン市を対象としています。その後のトランシェでは、国家無収水対策プログラムの一部および、地方の水道会社のインフラ整備や、第1期の資金援助で確立されるホーチミン市のモデルの普及からなる投資サブプログラムに資金を提供していきます。

本プログラムの目標成果は下記の通りです。

- ・都市部における上水道普及率を2010年の59%から2020年には90%に引き上げる
- ・無収水率を2010年の30%から2020年には18～25%まで引き下げる
- ・対象地域内の女性を世帯主とする全世帯を上水道に接続する



ADBのビジョン：貧困のないアジア・太平洋地域

ADBのビジョンは「貧困のないアジア・太平洋地域」であり、その使命は開発途上加盟国が貧困を削減し、人々の生活を向上できるように支援することです。経済発展のサクセス・ストーリーが脚光を浴びる一方で、アジア・太平洋地域には、世界の貧困層の3分の2が、また生活費が一日2ドル未満の人々が約18億人、そのうち9億300万人は一日1.25ドル未満で暮らしているとされています。ADBは経済成長、環境に調和した持続可能な成長と地域統合を通じて、貧困の削減に取り組んでいます。

マニラに本部を置くADB（加盟国・地域数67、うち域内48）が開発途上加盟国を支援する主な手段には、政策対話、融資、出資、保証、グラントおよび技術協力があります。